

音楽劇「ウレシパモシリ」リーディング・配信公演

2023
1216

加筆
2023
1104

下北沢
コムカフエ音倉

楽曲提供

脚本・演出

モチーフ

キャスト

ジェルマン・ボナパルト

古市

水越とものり
羽根渕章洋

哲治

聖

中本吉成
水野貴以

みどり

あい

井上・小森

川田・チンピラ・警官1・

佐藤・犬の抑留の人・

駅員・警官2

ポール（犬）

Sora

占い師

光枝明彦

唄1

唄2・慶子

阿部よしつぐ
山本詠美子

ピアノ

パーカッション

手回しオルガン

藤本ゲン
芳賀一之
紀あさ

1 幕

アンダーグラウンドの人々の生活を思わせる雰囲気があったよっている。

昭和の匂いと近未来を兼ね揃えたような町。

舞台中央に象徴的に台本が置かれている。

子供が手回しオルガンを演奏し始める。

M 1 『光の子どもたち』

(唄1)

遊べ遊べ遊べ 光の子どもたち
笑え笑え笑え 天地を揺るがせて
転べ転べ転べ 光の子どもたち
すりむいて泣きやんで また走り出せ

間奏 4 小説

全ての役の最も幸せだったときの記憶。カメラや、会場の観客をしつかり意識する。

(唄1)

光の国から僕らはきた
神様の伝言伝えにきた
光をなくした大人たちに
もう一度輝いてほしいから

(オールキャスト)

遊べ遊べ遊べ 光の子どもたち
笑え笑え笑え 天地を揺るがせて
転べ転べ転べ 光の子どもたち
すりむいて泣きやんで また走り出せ
go go

(唄2)

いい子にしないと愛がもらえない
僕らは無限に与えてるのに
愛は出し惜しみするものじゃない
子どもを閉じ込める牢屋でもない

(オールキャスト)

ラララ ラララ 君も 光の子供達
忘れないでおくれ 生まれたてのことを
ラララ ラララ みんな 光の子供達
目を覚ませ 思い出せ 愛こそは君 go go

SE 鳥のさえずり。哲治が舞台上手に寝ている。三月下旬の日曜日。
哲治はどこか一箇所アドリブを入れる。あくび

よく、カビのはえないこと・・・お兄さま・・・もう十時なのよッ。

起きてるよ・・・

三十分前もおっしやったじゃないの。

今ねえ、シャツを着とる・・・ところす。

うそじゃないわね。見に行くわよ。

ダメダメ。今ね、下は何にもはいとらんぞ

聖 哲治 聖 哲治 聖 哲治

H!

ああ——世の男性ってみんなお兄さまみたいなグウタラなのかしら
あたし結婚なんか絶対にしないわ。

聖、はける。

哲治

せつかくの日曜日なのにもう、あいつは一体、どんな男と結婚するんだろうか

暖かい太陽が哲治を包み込む。
照明チェンジ、ピアノ音。

M 2 A 『Sunday』

(哲治) 口笛を吹く

ある日俺はふと気付いちまったんだ

いつも空には太陽があるだろう

誰も頼んでないしバイト代も払ってないのに

地球の裏側まで働き続けてるんだぜ (マジ? マジ?)

インディアンのお長もこんなこと言ってたっけ

毎朝 命と太陽に感謝しろって

なぜ感謝するのか分からないやつは

罪がとぐろを巻いている証拠なんだってさ

(朝日が昇れば) なんだか嬉しい

(夕日が沈めば) なんだか寂しい

あんたの光を浴びながら

俺たちはあーでもないこーでもないって

一生あたたかかけぬけていくんだろうな (マジ? マジ?)

(コーラス) (哲治)

Monday 月夜に生まれて

Tuesday 燃える恋をして

Wednesday 子供を育てて

Thursday 家を建てよう

Friday 美しい人も

Saturday 土に還ってく

Sunday そして陽は沈み 陽は昇る

哲治、再び寝ようとする。

聖 哲治
聖 哲治
聖 哲治

お兄様！
びっくりしたなー。
お兄様・・・
なんだ。
今、シンガポールの春子さんって方からお手紙が来てるわよ。
シンガポール？・・・春子？俺宛に？・・・ちよつと見せてみる

再び鳥の鳴き声が聞こえてくる。
俳優が、口笛や楽器を使つて、鳥の鳴き声を表現する。

聖 哲治
聖 哲治
聖 哲治

お前何か疑つてるだろ
別に

聖 哲治
聖 哲治
聖 哲治

俺はこんなシンガポールの春子さんて人は心当たりがないけどね
あらそう じゃああたしが拝見するわ

哲治

別に構わないでしょう 後ろめたいことはないんですから
ああ、構わんよ 一応 声に出して呼んでみる
こっちは潔白なんですから ったく

聖

近頃の娘は猜疑心と嫉妬心が強いんだから
(セリフ遮る感じで) 読むわ。・・・ハイカベ・・・んっ？

聖 哲治
聖 哲治
聖 哲治

ああ、これは・・・拝啓のつもりだわ。啓という字を壁にしているのね。
なるほど・・・
ハイケイ・・・やつとお股が見つかり
お股？
きやつ、なによそれ！ こんなの読むのもイヤよ

顔を赤らめる聖。

聖 哲治
聖 哲治
聖 哲治

・・・あ？はっはっ、わかったよ。
なにが
股じゃない。お暇をみつけた。こりゃ見事に間違えたもんだな。
見事なもんですか。字だつてみみずが這いつくばつたような小学生よりもひどい字よ。
なんなのもう

哲治は手紙に目をおとした。

(びつくりして) えっ!!

どうしたの・・・

こりゃあ、大変。フランスの青年が・・・ここにやってくるんだぜ。
なんですって?

イヤ、冗談じゃない。その上・・・

その男はあのナポレオン皇帝の子孫なんだ

鳥の鳴き声がやみ、静寂になる。

脅かすのはよしてよ。

なに言ってるんだ。本当なんだ。

信じられないわよ。

それどころじゃない。彼はもうこっちにむかっているんだ。

あと二十日もしたら横浜につくんだぜ

ちよつと待ってよ・・・一体なんの話なの。

それが・・・君もおぼえているだろ。八年前、おれが外国の

ペン・フレンドと文通していたのを・・・

ここ見てくれ、ここ(手紙を指さして)

僕の名を日本字で書きました

ジェルマン ボナ ハルコ??

ジェルマン ボナパルト

家族の名がボナパルト。彼の名がジェルマン。そう言えば、

おれと文通していたところから、日本づいていたがなあ・・・

見物で来るの。商用で来るの

それが・・・何も書いてないんで、おれにもわけがわからん。

・・・こりゃ、お嫁さん探しかもしれないぜ、聖、ガンバってみなさいよ。

下劣なこと言わないでちょうだい。

でも、相手は英雄ナポレオンの末裔だぜ。

おい、どうしよう。この男を・・・

ともかく、母さまに相談するわ。見もしらぬ外国人を

聖

哲治

聖

哲治

聖

哲治

聖

哲治

聖

哲治

聖

哲治

聖

哲治

聖

哲治

聖

哲治

家に泊めていいかどうか、お兄さまの一存だけじゃいきませんからねッ。

舞台上暗転。コーラス照明イン。哲治、聖はけ。

クロスたちが、センターに集まり、歌い踊る。この時、

(小道具) テーブルと椅子スタンバイ

M2B『Sunday』(リプライズ) 曲中転換

(コーラス)

Monday 月夜に生まれて

Tuesday 燃える恋をして

Wednesday 子供を育てて

Thursday 家を建てよう

Friday 美しい人も

Saturday 土に還ってく

Sunday そして陽は沈み 陽は昇る

テーブル・椅子。会社のパソコンに向かいながら作業している聖。
昨日のことが頭から離れないので、仕事にも集中力がない感じ。

聖
はぁ・・・もうすぐ、フランスの青年がくるのね。一体どんな方なのかしら・・・
ついに私を強く引つ張ってくれる王子の出現なのかしら

同僚の井上が来る。

井上
おはようございます、聖さん。

聖
あつ、ねえ、井上さん。伺いたいことがあるの。

井上
なんですよ。

井上
井上さん、旧華族のお孫さんでらっしゃるんだから、

聖
こんなこと御存知かしら。

井上
お孫さんだなんて、ホッホッホ。でも、なんでしょう

聖
ナポレオンの末裔って、本当にまだいるの？

井上 　そりや、いることはいるでしょうねえ。
聖 　何をして生活してるのかしら。
井上 　さあ・・・そこまでは知りませんけど。聖さん、
聖 　急になぜナポレオンなんかに興味お持ちなんです・・・
　　いいのよ・・・

聖ハケる 井上顔ボケ
暗転

汽笛 　役者が楽器を使い奏でる
カモメの鳴き声。
海、フランス船、ベトナム号はおだやかな航海をつづけている。
船の模型と青い布を使って海を表現したい。

M3 『世界は足りてる』 1番

(唄1)

旅に出ようよ 全てを捨て
命一つが君のパスポート (汽笛)
見知らぬ国で 途方にくれ
君の野生が今蘇る

聖 　お兄さまはまだ起きてこないのかしら…無責任だわ。
慶子 　自分のお客様が今日、到着するというのにねえ。

哲治起きてくる。

哲治 　税関や検疫で、ほんとうに客がおりののは十時ぐれえだよ。
聖 　いそぐことはありますかいな。
　　ノンキ者のお兄さまの言うことなんて、信用出来ないわ。
　　もう行くわよ。
哲治 　ああ、ちよつと待っておくれよ。全くせつかちなんだから・・・
慶子 　いつてらっしゃい。

家を出る二人。

(唄1)

大いなる大地と 果てなき大空
無数の命と 裸の君がいる
余分なものはない 欠けてるものもない
全てがああ愛しい

海に到着 (間奏中) カモメ再び鳴き出す

哲治 聖 哲治 聖 哲治

(伸びをした後に) 港なんて久しぶりに来たなあ。
ベトナム号なんて・・・いないわ。
おい、聖、あつちらしいぜ。
ジェルマンさんどこにいるのかしら。
さあ・・・相手の顔を知らんからなあ。
とりあえず、タラップの下に並んどこうか。

(唄1 & 唄2)

世界は足りてる 喜びに満ちて
君が気付く日をずっと待ってる
世界は足りてる 両手を広げて
君に愛されるときを待ってる

二十分ほどの間・・・次から次へとおりてくる船客の顔を哲治と聖はむなしく昇降台の下から見あげていた。
だがジェルマンらしい外国青年はどこからも現れない。

聖 哲治 聖 哲治

いないわ・・・
そうだな・・・
あたし・・・船の中、さがして見るわ。
そうするか・・・

天井にシャンデリヤがきらめいている。豪華な壁画に彩られた船内はまるでホテルの中のようなのである。外人の客、紺の制服を着た高級船員たちがアメ玉をころがすようなフランス語でさえずっている。床の敷物も聖のハイヒールまでがスッポリ埋まってしまうような感じだった。

哲治

うわーすごいなー。シャンデリアだぜ。
うわー、あの絵、小学校の教科書に載ってたやつだ。
本物かなあ。

聖はツカツカとフロントまで近づいていた。

聖

（船員さんを見つけて） あ、すみません
船客名簿、調べて頂けます？・・・ジェルマン・ボナパルトという船客、
どこにいらっしゃるのかしら。

フロントマン
聖

スイ アスペティ・シニョリーナ
タント・グラチエ

フロントマンは名簿をひっくりかえしていた。それからボタン、
と大きな音をたてて表紙をとじると、うすい、皮肉な微笑を口にかべて、
フロントマン遊びパート

フロントマン
クラス・クワルト

指を四本あげて聖に見せた。四等という意味である。

聖

えっ？（哲治の顔をみて） 四等？
ドーベ・エーイル・クラス・クワルト・・・（四等の船室はどこ・・・）

フロントマン
ボワラ・・・

突然、フロントマンは青い目をあげて兄妹に目の前にある鉄ハシゴをゆびさした。
暗い船倉にはいるハシゴである。その先からはイヤな臭気がして・・・

聖 　くさいわ、お兄さま・・・
哲治 なんの臭いだろうなあ・・・まるで家畜小屋だなあ。
聖 　何よここ。こんなところに本当に人間がいるのかしら・・・

聖 フロントマン
哲治 この先が四等
聖 デッサンデ・ムツシュ、デッサンデ・マモアゼール
哲治 そのハシゴを渡れと言っているわ。
聖 はいはい。
哲治 渡るの？
聖 よし、渡ろう。聖からどうぞ。
哲治 いやよ、お兄様からいってよ。
聖 レディファーストだ、聖。
哲治 どうしてこういうときだけ・・・ずるいわよ

船の油とペンキの臭いのまじって家畜小屋のような動物的臭気が
ムツと鼻についた 哲治は鉄ハシゴにしがみついて降り始めた。
ジェルマンが出てくる

哲治 おい、聖・・・あそこ。
聖 え・・・

昼だというのに、シーンとした真暗な船倉に足をおろした。
円窓から外の陽の光がほこりをうきさずみさせて流れこんでいた。
男が信玄袋のようなサックをひぎに掛けて、しょんぼり座っていた。

哲治 ジェルマン・ボナパルトさんですか？
ジェルマン ウイ・・・はい、はい、はい。
聖 くま・・・

(ストップモーション)

M 4 A 『大丈夫マイフレンド』

(唄1&唄2)

だいじょうぶマイフレンド だいじょうぶマイフレンド
だいじょうぶマイフレンド だいじょうぶマイフレンド

(哲治)

ちーす 哲治 30歳
営業成績 昔はトップ
会社の景気も今はストップ
嘘なし 愚痴なし 自慢なし
外見なんて気にしません
でもナポレオン ボナパルトの末裔って
こんな間抜け面でいいわけ
妹もこれじゃ怒るだろうなあ

(コーラス)

ちがう ちがう ちがう これじゃない
言いたいことってこれじゃない

(哲治)

外国人ってみんながみんなかっこいい訳じゃないのね

(コーラス)

ちがう ちがう ちがう わからない
やりたいことってわからない

(哲治)

やっぱり外見って案外大事かもー

(コーラス)

だいじょうぶマイフレンド
だいじょうぶマイフレンド
堂々とまちがえろ ハイハイハイ
だいじょうぶマイフレンド
だいじょうぶマイフレンド

胸をはって傷つけ

(聖)

はい 聖 25歳

貿易会社 社長秘書

その辺の男よりは高収入

趣味は男より株よ株

実家に迎えるフランス青年に

夢をひそかに描いていたわよ

わるい？ましてナポレオン ボナパルトの末裔だったら
たくましい男であってほしいわよ

(コーラス)

ちがう ちがう ちがう これじゃない

言いたいことってこれじゃない

(聖)

それにひきかえこの間ぬけ顔

知性のひらめきなど全然ないじゃない

(コーラス)

ちがう ちがう ちがう わからない

やりたいことってわからない

(聖)

少しでも期待してしまった自分が本当に恥ずかしいわ

(コーラス)

だいたいようぶマイフレンド

だいたいようぶマイフレンド

堂々とまちがえる ハイハイハイ

だいたいようぶマイフレンド

だいたいようぶマイフレンド

胸をはって傷つけ ハイハイハイ

哲治

ジェルマン

哲治

ジェルマン

哲治

ジェルマン

哲治

ジェルマン

哲治

ジェルマン

哲治

ジェルマン

哲治

ジェルマン

哲治

これがぼくの妹・・・
おお、ビズンさんね。

たのしかったですか、ジェルマンさん、船旅は・・・

フナタベ？

船の旅ですよ。

アア、そのことはたのしいでした。

早速だが、よいとこヤドヤ、教えてください。

よい床屋？

ヤドヤ・・・ホテル。

ああ、ホテルね！ジェルマンさん、そんなことなら心配ありませんよ

ぼくらの家が君の安いヤドヤ・・・

・・・

・・・

ありがと・・・しんせつ・・・

・・・さあ、じゃあ我が家に向かおうか。

大丈夫マイフレンドコードのみいん

照明変化

哲治

ジェルマン

哲治

ジェルマン

ジェルマンさん、このへんが伊勢佐木町。あれが市役所・・・

コドモさん。

えっ？

コドモさんいっぱいね

犬がジェルマンの側にくる

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

・・・オウ、イヌさん。

そうですわね。

イヌさんやせてるね。

本当ね。イヌさんやせてる。

イヌさんに食べものください。

聖
哲治

・・・
それはまた今度にしようか

照明変化

家に着く。曲 out

哲治
慶子

さあ、ここが我が家だよ。ただいま、母さん。
まあ、いらつしゃい。お待ちしました。

母親の慶子も仰天してこの客をながめている。

哲治

あそこが君の部屋・・・ねえ・・・

自分の家だと思ってくれたまえよ。

冗談じゃないわよ。本当に・・・

聖
慶子

さあさあ、御飯にしますよ。

ジェルマンさんも手を洗ってらして。

聖
慶子

・・・おおいわね（アドリブ）・・・
知らない！

ジェルマンはける。ジェルマンの歓迎会という意味で哲治が奇声をあげるほどの御馳走が食卓にならべられた。

哲治
慶子

うわー。すごい御馳走ですね。今まで見たことのない鮮やかさ。
じゃあ、戴きましょう・・・ジェルマンさん。

当の主客は、哲治のふんどしをナプキン代わりに首につけて入ってくる。

ジェルマン

はい。はい。

聖

きやあー

哲治

ジェルマンさん。それは・・・

ジェルマン

（得意気に）はい。これ、日本のナプキンつけましょう。

哲治

ああ、これは僕のフンドシ・・・

慶子
哲治

まあ、似合ってるからいいかあ。
・・・じゃあ、戴きましようか。

いただきます。君。今日から君のことをぼくら、
ジェルさんとよびますぜ。よびにくいですからさ。

はい。・・・わかりました。

ねえ、ジェルさん。君はあのナポレオンボナパルトの末裔なんだろう？
はい。

へー凄いわねー。

ジェルマンさん、食べないの？

・・・

ジェルマンさん。どうしたんです・・・ジェルさん？

イヌさんも。これ、たべたいね。

イヌさん？アア、あの野良犬のこと・・・

イヌさんにあげていいか。

・・・どうぞ。

おお、犬さんよかったですね

ジェルマン、外にいるイヌに食事をあげる。

ちよつと、お兄様なんなのよもう。

うん・・・犬にイクラはもつたいないなあ・・・

聖
哲治
ジェルマン

今日からこのイヌさん、みなさんのお友だち。わたしと同じお友だち。

聖
哲治

よくもあんなバカを呼んでくださったわね、お兄さま。

いや、大石内蔵助のこともあるから、

バカかどうかまだわからんぞ。

いくらなんだって程度というものがあるわよ。

ふんどしを日本のナプキンだと思ったり、

勝手に野良犬連れ込んだり・・・

いくら日本を知らないからって非常識だわ。

哲治

聖
哲治

いや、そこだて。あれは瑣事にコウデいせん
海のようにふかい男かもしれん。
とにかく聖は昔から男を見る目がなかった。
母さん、ちよつと甘えますよ（哲治アドリブ）
おれのような男の中の男を見る目がね・・・
あの人、何のために日本にきたのよ。
さあ・・・きいてみたが、別に目的らしい目的も言わないんだ。

M
4
B

『だいじょうぶマイフレンド』（リプライズ）

曲中転換

（唄1）

だいじょうぶマイフレンド

だいじょうぶマイフレンド

堂々とまちがえろ　ヘイヘイヘイ

だいじょうぶマイフレンド

だいじょうぶマイフレンド

胸をはって傷つけ

数日後。平日の夜。衣装少し変化。

聖
哲治
聖
哲治

どこに連れてらっしやるの。銀座？
銀座なんか行かないよ。聖などの知らぬ新宿の裏の裏。
国辱的な場所をジェルマンさんにお見せになるつもり？
ばかだなあ、聖は。じゃあ財布を持って監視について来いよ。

哲治、聖、ジェルマンの順で新宿に向かう。
犬が、聖にまわりついてくる。

聖

きやつ、シツシツ・・・

汚い犬をじゃけんに
扱う聖。

SE 夜の新宿の音

照明 ネオンがきらめく

ジェルマンはキヨロキヨロと目をうばわれる。

ジェルマン
哲治

哲治さん、びつくりごとです。
おもしろいだろ。これは東京のカスパ、

一杯、のんで行きますかな。

そうやって、すぐに、ジェルマンを誘惑するんだから。

何事も社会勉強だよ、聖。

ねえ、お兄さま・・・あれ・・・

聖
哲治

チンピラのようなやからに、ジェルマンが声をかけられている。
チンピラは、なれなれしく小声でなにかつぶやいている。

哲治
ジェルマン

ジェルマン・・・ジェルマン。

チョット、待ってください。この人、

うつくしい日本の写真見せると誘います・・・

いいんだよ、ジェルマン、こっちに来なさい。

だまされちゃダメだよ。あいつはねえ・・・

おい・・・あいつとは何だい。ちよつと面をかしてくれねえか。

なによ、この人たち、お兄様いきましよう。

逃げんのかいよ、姉ちゃん。

逃げません。逃げませんが・・・でもねえ・・・あんた・・・

あんた？

あんた・・・この異人さん・・・

どなただか知つとられますか
なにい？

チンピラ

哲治

チンピラ

チンピラ

聖

チンピラ

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

哲治

よく見てくださいよ。記憶ないですかなあ。
新聞で見たことおありでしょう？御存知ない・・・
この方こそ拳闘の米倉さんと今度、試合をおやりになる
ブラジルのジェルマン選手その人ですよ。

間

哲治

ぼくらはブン屋・・・つまりジャイアン新聞のもんですけど・・・
ミスタージェルマン。

ジェルマン
哲治

はい、はい。
ノックアウト、デイス、チンピラ。ガオー！
(ジェルマンを腹話術のように扱う)

チンピラ舌打ちして去る。

聖

ああ、びっくりしたわ、もう帰りましょうよ、お兄様・・・

そのとき、井上が登場。聖に声をかける。

井上
聖

これは、聖さん！

井上さん！ああよかったわ。一時はどうなるかと思っただわ。
お兄さま・・・紹介するわ。わたしのオフィスの井上さん。

井上

井上男爵のお孫さんなの。
井上男爵のお孫さんです。

聖

おうわさは聖さんからも時々、伺ってましたのよ。
こちらわね・・・ジェルマン・ボナパルトさん。
フランスからいらっしやって今、あたしの所にお泊まりなの。

井上
ジェルマン
井上

フランスの人と話をするのは、とても光栄ですね
はい、はい。
僕はフランスの芸術を尊敬してるんですよ。
東京に満足されました？ジェルマンさん・・・。

ジェルマン
井上
聖
井上
ジェルマン
井上
哲治

ずいぶん汚いでしょ。パリはいいなあ・・・
根のついたゲイジツの都だから。マロニエの木、
セーヌ河。・・・東京なんか町そのものが貧弱で
うすっぺらで、パリなんかとは比較になりませんでしょ。
それに・・・今の日本人はなにもかもアメリカ文化の
サルまねですからねえ。サルまねですよ。
アメリカ文化の・・・。ジェルマンさん、
サルまねって日本語、おわかりになります？
サルまね？
サルまね・・・聖さん、フランス語でサルってなんと言うのかしら？
さあ・・・知らないわ。
サル・・・つまり、モンキー。
アア、サル・・・ほんとね。あなたはサル・・・
しかし、大きいですね！ まるでプロレスラーですね。
聖、さあ、早いとこいこう。

再びチンピラ登場。今度は二人で来る。
チンピラ
ちよつと待ちな、兄ちゃん。

ボイパ
in

チンピラ

♪チキタン チキチキタン アアッアー

これが拳闘の選手かあ。ばか野郎。手をみるや、手を。
こりやあ拳闘やった手じゃねえじゃないか。

井上
チンピラ

♪チキタン チキチキタン アアッアー

こちらさんは？
ちよつと聞ぐが、この大男は拳闘の選手じゃないんですかね？

井上 ともでもない。フランスから来た聖さんのお友達ですよ。拳闘の選手だなんてあははは．．

井上、チンピラに殴られる。

M5 『Bleeding Love』ピアノ

井上 おい、おい．．．何だね君は．．暴力はいけませんヨ．．．
チンピラ おまえら俺をコケにしやがって
井上 ヒヤーツ．．．(逃げようとする)

スローモーション。
喧嘩。

(唄1)

ナイフのような言葉が
あたしの胸にグサツと突き刺さる
幼いころ捨てられた
悲しみまでがフラッシュバックする
女はみな血の涙流すマリア
男はみな迷える子羊

曲中芝居が進行する

哲治 ジエルさん、聖、今だ！
聖 お兄さま待って。
チンピラ 待てコラー！！

ジエルマン逃げ遅れ捕まる。

ジエルマン わたしの友ダチ．．．
~~チンピラ2~~ 西野、一発やき入れてやりな。
チンピラ アメ公のくせに、デケー面して日本を歩きやがって．．．

ジェルマン さよなら、みなさん・・・さよなら。

ジェルマン 殴られる

(唄1&唄2)

ひとりぼっちの夜は
子宮があんたを呼んでる
Bleeding love Bleeding love
My heart is bleeding
bleeding bleeding
Bleeding love Bleeding love
My heart is bleeding
Bleeding bleeding
Bleeding love Bleeding love
My heart is bleeding
bleeding bleeding
Bleeding love Bleeding love
愛は血を流す

④

(唄2) 耐えているジェルマン

愛なんて甘い夢じゃない
愛は痛みからしか学べない
だから傷あとさえも愛しなさい

(唄1)

愛なんてきれいごとじゃない
愛は罪を許さなきゃ得られない
だから醜ささえも愛しなさい

⑤

(唄1&唄2) 再びボロボロにされるジェルマン

Bleeding love Bleeding love
My heart is bleeding

bleeding bleeding
Bleeding love Bleeding love
My heart is bleeding
Bleeding bleeding
Bleeding love Bleeding love
My heart is bleeding
bleeding bleeding
Bleeding love Bleeding love
愛は血を流す

ジェルマン

オウ！オウ、ノン、ノン・・・チュ、マ、ヘ、マール・・・
オウ、ノン、ノン、・・・いけません。なぜ、わたし・・・いじめます？

Bleeding love Bleeding love
bleeding love
Bleeding love Bleeding love
bleeding love
Bleeding love Bleeding love
bleeding love
Bleeding love Bleeding love

チンピラ、喧嘩のしがいのない相手。弱いものをいじめている
なんとも後味の悪い感じが、チンピラたちを包む。

ジェルマン
チンピラ
チンピラ

みんな、友だち・・・みんな、友だち・・・なぜ・・・なぜ・・・
チョッ、なんだよこいつ・・・デケー図体してヨ、泣きやがってヨオ・・・
おい、いぐぞ・・・
十人はける。ひとり取り残されるジェルマン。

M 祝福の唄。ピアノ in

ジェルマン
・・・なぜ・・・なぜ・・・

犬がジェルマンに近づき傷口をなめる。
哲治と聖が戻ってくる

哲治
ジェルマン
哲治
ジェルマン
ジェルさん・・・痛むかい、ジェルさん。
・・・だいじょうび。
悪かったね、ジェルさん。
だいじょうび、だいじょうびよ、哲治さん。

ジェルマンの手当をする。

哲治（独白）
聖（独白）
哲治
聖
おれは・・・なんで彼を見捨てて逃げたんだろう。
男のくせに泣くなんて・・・意気地がなさすぎるわ。こんな大きな体をしているのに、なぐられっぱなしなんて・・・
ジェルマンさん、気を悪くしないでくれなあ。日本人の全部が全部、今日みたいな人間じゃないんだから
・・・弱ったことになったねえ。
元氣、おだしなさいよ。うちに帰ったらあたし、すてきなお菓子やいて、ジェルさんとお兄さまもてなすわ。

ジェルマン
お母さんにこのこと黙りましょう。なにもしゃべらない。
わたし、ころんで、ここをコワしました。そのつもりします。OKか？

BGMアウト

哲治
聖
・・・分かった、聖もいいな。
・・・分かったわ。

二人はジェルマンを支えるようにして家に帰る。

「祝福の歌」

(唄1)

神様、あんたはとんでもない嘘つきだな
 砂浜にはいつもオレとあんたの足跡が
 ふたつならんでいた
 だけどオレが悲しみのどん底にあるとき
 足跡がひとつ消えていた
 つまりあんたはオレを見捨てたんだな

(唄1)

私の子供よわたしはつねにあなたとともにある
 私の子供よ目を開いてよく見るがいい
 ひとつになった足跡が
 砂に重くめりこんでいるのを
 その時わたしはあなたを背負って歩いていた

(唄1 & 唄2)

た　　と　　え　　誰　　が　　き　　み　　を　　否　　定　　し　　よ　　う　　と　　も
 オレは胸をはりきみを祝福するよ
 た　　と　　え　　き　　み　　が　　き　　み　　を　　信　　じ　　な　　く　　て　　も
 オレは腕ひろげきみを祝福するよ
 Gods bless the child　だめなままでいい
 Gods bless the child　弱いままでいい
 オレはなにもあげられないから
 さあ受けとっておくれ　祝福の歌

ジェルマンをステージ中央に座らせて哲治　聖ハケる

君の君だけの愛は　ずっと君と共にあった
 君を君だけをずっと　見守ってきたんだ
 今君の愛は干からびて死にかけている
 君が君自身に顔をそむけてきたから
 君の眠れる愛を揺り起こすときが来た

愛せ 愛せ 愛せ 君が産み落とされた世界を
愛せ 愛せ 愛せ 君とつながる全ての仲間を
愛せ 何よりも君自身を

たとえ誰が君を あざ笑っても
俺は胸をはり君を祝福するよ
たとえ君が君を 誇れなくても
俺は腕広げ君を 祝福するよ

Gods bless the child だめなままでいい
Gods bless the child 弱いままでいい
オレはなにもあげられないから
さあ受けとっておくれ 祝福の歌

ジェルマン
哲治
ジェルマン
聖
ジェルマン
聖
ジェルマン
ハイ・・・

大事なお話、あります。
なんだい、ジェルマン・・・
わたし、家を出ていく。
家を出ていくですって・・・
どうしたのよ、何か気に入らないの？
ノン、ノン。
じゃ、さつきの事件がショックだったのね。
日本に幻滅して気がめいたんでしょ？
ノン、ノン。

ジェルマン
哲治
ジェルマン
哲治
ジェルマン
みなさん、本当にしんせつ感謝です。
でもみなさんにフランス語で、オー・ルボワール
(さようなら) 言います・・・
一体どうしたっていうんだい？
もつと多くの日本人、見たい・・・ゴメエなさい・・・
まあ、ジェルマン、ここにすわんなさいよ。

哲治

ジェルさん・・・そりゃ、日本人に沢山会いたいと言ったって、ぼくの家泊まってるけども

十分見られるんだぜ。

聖

そうよ・・・どんな方にお会いになりたいの？

できることなら、あたしたち

何でもしてさし上げるわよ・・・ねえ、お兄さま。

わたし、意気地なし。明日になると心だめ。この

ジェルマン・

家にまたいたくなります・・・

哲治

・・・意志は固そうだな・・・仕方ねえや。

聖、ジェルさんのよいようにしてあげようよ。

でもねえ、ジェルさん、いつでも戻ってきなさいよ。

日本にいる間はここが君の家だと思っさ。

哲治

さよなら、ジェルさん。

ジェルマン行ってしまう。見送る家族。

哲治

全く不思議なひとだねージェルさんは・・・

ワン、ワン

あつ、あの犬だわ・・・

本当だ。

あの方のあとをヒョロヒョロとついて行ってるわ。

なにがなんだか、俺にはわけがわからない。

哲治

暗転。

シーンチェンジ。工場の機械的な音、

古市 Stage 中央シルエット 銃声

舞台上にはストリップパーが板つき。

(唄2)

もしも神様ってやつがいるならおれに勇気をくれないか
たとえすべてに意味があると言ってもそれが救いなのか
目の前でもだえ苦しむ人に面とむかって
すべてあなたが選んだことですなんて言い切れるのか
悟りや心理や法則なんてクソくらえ
ただその人のよこじつと坐っていてあげればいい
自分を消して呼吸を合わせ手をさする
やがて彼の魂が自ら答えを語りだすだろう

すべての幸せを願う神は本当にいるのか

こんな不平等な世界 なぜ見て見ぬふりをする

Answer me Answer me Answer me

生きる意味をくれないか？

Answer me Answer me Answer me

生まれた意味をくれないか？

そう答えならすでにおまえに与えてるはずだ

おまえの命それが The Answer

すべての幸せを願う神は本当にいるのか

こんな不平等な世界 なぜ見て見ぬふりをする

Answer me Answer me Answer me

生きる意味をくれないか？

Answer me Answer me Answer me

生まれた意味をくれないか？

そう答えならすでにおまえに与えてるはずだ

おまえの命それが

ジェルマン登場 老犬も咳をしながらヒョロヒョロとついてくる

ジェルマン

ノンノン 犬さん、さよなら
犬さんもわたしと同じ宿なし・・・
一緒にいきましよう 犬さん

お腹をすかしている、ジェルマンとポールが歩いている。

みどりが男に絡まれているところに出くわす。一発殴られる。

あいは、古市の存在に気付きあわてて逃げる。

まるで血も涙もない古市の仕打ち。

助けるジェルマン。

ジェルマン

ダメ・・・女のひと殴る、弱虫。

男はさつていく。

ジェルマン

だいじょうびか？あなた・・・
・・・いつまでもここに立っていると、お巡りがくるんだよ。
あっち行っとくれ。

ジェルマンは去ろうとするが、犬が目に入り

ジェルマン

・・・たべもの・・・

みどり

なにさ・・・？

たべもの、売る店、犬さん、わたし・・・

間

移動。ピアノ BGM ウィンドチャイムなど

みどり

ここで、まってな。今、たべもの持ってきてやるからサ。

おずおずとコンクリートの地面にうずくまると、ジェルマンは両ひざを手でだいて、女に言われた通りジッと息を殺していた。空を見あげると、無数の星が相変わらずまたたいている。

ジェルマン

いっぱい星きれい・・・優しい人いっぱい。哲治さんも、聖さんも・・・(ワン)犬さんも。

M 8 『愛を知らない子どもたち』

(唄1)

いつもひとりぼっちだった
目立たぬように息ひそめた
ぼくはキッチンテーブルの下で
絵を描きつづけた
信じるたびに裏切られた
人間が一番怖かった
ぼくは夕日が映る川面に
石を投げつけた
せつなくて せつなくて
心が裂けてしまいそうだよ
(唄2ハモリ)
愛したいけどとどかない
愛し方さえわからない
愛されたいけどしようがない
愛を知らない子どもたち

曲中芝居が進行する

あい みどり、やばいじゃないか。そんなアメ公をつれこんだりして・・・
みどり 大丈夫だよ・・・あの男は・・・
あい 一人かい
みどり それが・・・木と一緒なんだよ。
あい 犬?

ジェルマンたちに近く

あい

ふうん、これかア。この人、マエモチ（前科者）かい・・・ムシヨ（刑務所）から出てきたんじゃないだろうね。

みどり

トウシロだよ。

あい

ねえ、みどり、チョットいかすじゃない・・・この身体。

ジェルマン

おお、ゴメエなさい。

みどり

アラ・・・日本語、話せるんだヨ、この人ったら。

ジェルマン

お黙りよ、うるさいねえ。ほら食べな。

あい

。。。おでんだよ、知らないの。

みどり

知らないさ。外人だもん、たべたことはないさネエ・・・

あい

アラ、たべたよ。

みどり

この犬、名前はなんてんだい？

ジェルマン

名前？・・・はい・・・ポール。わたしもポールさんも宿なし・・・

みどり

スがないんだってヨ。

あい

金ないの、あんた？（ジェルマン、お金をだす）こんだけありや、

みどり

この人、どこにだって泊れるじゃないか。

みどり

ばかだネ。明日はどうするんだい。

みどり

明日もたべなくちゃならないんだよ、この人あ・・・

曲 out

みどり お前さん、その金あ、大事に大事にとつときなヨ。

（唄2）

生きてく重さに耐えれない

存在の軽さに耐えれない

ぼくはひな鳥のように飢えて

きみを待っていた

もう嘘はつきたくない

自分をごまかしたくはない
僕は夜中の信号機みたいに
立ちすくんでいた
いとしくて いとしくて
声をからしてきみを呼んだよ

みどり
ジェルマン
お前さん、先生のところに行くかい。

みどり
ジェルマン
・・・センセイ？

変わった年寄りだけださ・・・頼めばきっと泊めてくれるよ。
・・・チョットここで待ってなよ。

ジェルマン
みどり
これ・・・
なにサ。

たべもののお金。

みどり
ジェルマン
バカだねえ、おでんぐらい、おごらしておくれよ。

助けてもらったお礼だよ。

(唄1&唄2)

愛したいけどとどかない

愛し方さえわからない

愛されたいけどしょうがない

愛を知らない子どもたち

みどり達に続きセンセイと呼ばれる老人が登場する。

みどり
ジェルマン
ねえ、あんた・・・泊めてくれるってさ。

みどり
ジェルマン
はい・・・ありがと

みどり
ジェルマン
じゃ、先生よオ、あたいたちもう一仕事してくるよ。

曲 end

女達が引き上げた後も老人はものを言わない。

ジツとジェルマンを睨むようにみつめていたがやがて話し始める。

占い師

あんた、アメリカ人じゃないね。どこからきた。

・・・いや、答えていい。答えてもわたしにはすべて
分かります・・・顔をこっちに出しなさい

・・・これは・・・これは・・・

ハイ・・・ハイ・・・

うむ・・・不思議なお顔ですねえ

ジェルマン
占い師

うむこの鼻の上にあるホシは英雄を祖先にいただいてる

相といわれるが・・・こりゃ、たいした祖先をお持ちですなあ：

ジェルマン
占い師

ナポレオン・ボナパルト・・・

ナポレオン・・・なるほど、それで合点もいく。まずわしの透視に
あやまりはないです。申し遅れたが、わたしは川井蝸亭と呼ぶ

東洋の占い師です。

ジェルマン
占い師

センセイじゃないですか？

ジェルマン
占い師

センセイ？ああ、それは彼女たちの学校のセンセイだった時があつてねえ。ずいぶん昔の話です。それで・・・

ジェルマン
占い師

わたしの名・・・ジェル

ジェルマン
占い師

ジェル。近頃めつたにお目にかからん人相ですなあ・・・

ジェルマン
占い師

あんた、なにか大きな志を抱いておられますな
コロザシ：

ジェルマン
占い師

目的です。ちゃんと眉と眉との間にそれが出てますなあ。
なにをなしに日本に來られたのかな。

ピアノ in

ポールがジェルマンに近づく

占い師

ほう・・・犬がお好きですか・・・

ジェルマン

ハイ、ポールさん

占い師

ポールさん・・・わしも人から変わった人間と言われていますが、

ジェルマン
占い師

あなたもたいそう変わっておるなあ。

・・・わたし、金なしです。働くことあれば、何かしたいね
その点なら・・・どうにかなりますたい。わしのように占い師となって
人の運命を見るのも良からう

・・・うん、西洋人の占い師というのは、こりゃ、あたるかもしれませんが。
占い？

ジェルマン
占い師

なあに、占いなどむつかしいもんじゃない。

ジェルマン
占い師

これは人をダマスこと・・・困ります

人をだますのではない。迷うとる連中に元氣を与え、勇氣をつけること、

これが蝸亭の占いの目的ですたい。もつとも、ある程度はウソも
使わねばならんが・・・しかしこれはよい目的のためのウソじゃ。

どれ、でかけますかい。まず、今夜はあんたも日本の下情を
見られる軽い気持ちでな・・・

仕事にでかける、老人とジェルマン

M 叡智 in

占い師

・・・あんた何か迷っていることがあるんじゃないですか？

・・・人間にとつて必要なことがわかりますかい。

それは信じるということじゃ。何度裏切られても、騙されても、

相手を、自分を信じ続けるということじゃ。

・・・これは簡単なことではないですよ。

とても勇氣のいることです。

まだ、人間を信じとるのはあんた・・・下における人間じゃ。

あんたを送ってきた女達も身体を売ったり人のものを盗ったりは

するが、根は馬鹿でもお人好しで情のある子ばかり。

真心というのを持ったりします。

・・・あんたのその志、わしは応援しとりますけん。

何があつても信じ続けることじゃ

M 9 『叡智』

(唄1)

君は本当にがんばってきたね
誰も気づかないところで
子供のようにひたむきな瞳を
ああ 僕は見てる

君の優しさが人を傷つけて
君がさらに傷ついても
笑顔に隠して流した涙を
ああ 僕は見てる

占い師

今日は全然、人が通らんなあ・・・
わしはちよつと便所にいつてきますから、こんな風に
すわっとるだけでいいので、ミスター・ジェル、
ひとつ店番を頼みます。

ひとりぼっちになるジェルマン。

(唄1)

理由なき嫉妬 声高な批判
君は背中で受け止めて
傷ついたものをそっとかばう手を
ああ 僕は見てる

君を憎む人 さげすむ人さえ
大切な鏡だから
自分の敵さえ 抱きしめる君を
ああ 僕は見てる

空を見上げるとやはり満天の星。

ジェルマン

あの星と同じ数、悲しいこと、辛いことちらばってる。

変えられるものを変えゆく勇氣
変えられぬものを認める謙虚さ
それがどちらか見分ける叡智を
ああ 授けたまえ

争いに和解を 罪惡に赦しを
迷いには心理を 憎しみには愛を
闇には光を 授けたまえ 授けたまえ 授けたまえ

古市という男がジェルマンに近づいてくる。

彼は、時折、肺結核のような咳をする。

古市
ジェルマン

おう、お前どこの者だい。
・・・わたし・・・わたし、外国人。

古市は、急に体を二つにまげるとハンカチ（小道具）で
口をおおって烈しくせきこむ。

古市
ジェルマン
古市
ジェルマン

どうして、そこに坐っているんだい。
わたし宿なし・・・女の人しんせつ・・・わたし、ここにねむりますね。
ルンペンか。

古市
ジェルマン
古市

・・・
そうかい。ちよつと手を貸してくれないか、異人さん。
・・・
助けてくれと頼んでるんだよ。

タイヤがパンクしたから取り換えたんだ・・・
頼むぜ・・・金ア・・・払うからよ。

男はもう一度、体をまげてせきこみはじめた。

ジェルマン

・・・わたし行きます。

古市

前のタイヤでな。異人さんよ・・・車の中から道具、だしてくれ。

ジェルマン

ほら、奥に・・・座席のうしろ側に黒い包みがあるだろ。これね・・・

古市はジェルマンを後ろからけり、車の中に押し込む。ハンドル（小道具）

佐藤

坐りな・・・古市さん、変なもの拾ってきたね。

古市

事情はあとで説明するぜ・・・まず車を出しな。

ジェルマン

わたし・・・

古市

わたし・・・そのわたしは・・・僕たちと一緒に行ってもらうよ。

ジェルマン

犬さん

古市

なに？

ジェルマン

ポールさん・・・

ジェルマンはうしろをふりかえった。犬が、懸命に

車を追いかけてくる姿が、彼の眼にチラツとうつつた。

思わずジェルマンは窓にしがみついた。

ジェルマン

ああ・・・ポールさん、ああ・・・

だが、ポールは病気だった。ヨロヨロと電柱に

ぶつかり、あきらめたように立ちどまり、やがて

小さくやみの中に消えてしまった。

ジェルマン

わたし、おりる・・・

ジェルマンは横にいる古市の肩をおさえた。

古市の顔が苦痛でゆがむほどその力は強かった。

だが——古市は反撃も抵抗もしなかった。
発作に襲われたのである。こぶしを口にあてて、
彼ははげしくせきこんだ。気の弱いジェルマンは——
愚かにも手を放してしまったのだった。
白いハンカチで古市はくちびるをぬぐった。
そつとそのハンカチをひろげ、ライターの火で調べる。
つばのなかに絹糸のような赤い血がまじっていた。
その血を古市はじっと見ていた。

ジェルマン

佐藤

古市

佐藤

古市

佐藤

古市

・ ・ ・
大丈夫ですかい、古市さん。
ああ ・ ・ ・

薬ア、ないんですか。あんた、薬を飲まねえから、いけねえ ・ ・ ・

今は肺病にもいい薬ができたというじゃないか。

なおす気がないのかねえ ・ ・ ・

なおったって仕方もないぜ。おれみてえな殺し屋稼業が、
いつまで生きられるわけはねえよ ・ ・ ・

手にもった拳銃をさしあげた。

ひきがねに指をあてて彼はそれをゆつくりとひいた。

カチリ——

鈍い音がひびいたが、弾は出なかった。

古市

ジェルマン

古市

ジェルマン

古市

佐藤

逃げるなよ、異人さん。 ・ ・ ・ 今度ア本当に弾が出ますからね。
ユー ・ ・ ・ スピーク ・ イングリッシュ？

アイ ・ セーイ、ユー ・ スピーク ・ イングリッシュ？

わたし ・ ・ ・ わたしフランス人。

チャン。テ ・ エ ・ フランセ？モン ・ デュー。

古市さん、フランス語話せるんですかい。

古市
佐藤
古市

ずっとむかしなあ・・・習ったこともあつてな。
このフランスの野郎、どうするつもりです。
なあに、外人だけにおれがトブのに役立つのさ・・・

哲治会社帰り。同僚と酒を飲んでいた様子。

哲治

佐々木
哲治

いやあ、あんな人間がまだ存在することを思っただけで、
おれはなんだか近頃気が晴れてきたよ・・・
おお、そうかあ、いるんだなあそんなバカ正直なのが・・・
しっかし月曜日から呑んだくれてるとうちの鬼嫁ならぬ鬼妹がうるさいからそろそろ切り上げようか。
あれッ・・・

やせ犬がヨロヨロとそばを通りすぎて行った。

哲治

佐々木
哲治

・・・ありや、ジェルマンさんが可愛がつてた犬じゃないか。
おい、ちよつと俺はここで失敬するよ。
おお、そうかあ。じゃあまた明日。
じゃあな。こりや・・・ジェルマン、渋谷にいたんだな。

犬を追ってはける。
シーンチェンジ

佐藤
古市
佐藤
古市
ジェルマン
古市

つきましたぜ、古市さん。
おりな・・・異人さん。
じゃ、おれア失敬しますぜ。
歩くんだ・・・
ドコ、ここ？
サンヤだ。山谷・・・東京じゃポリスの手だつてここまではまわらねえ。
だから・・・あんたも決心した方がよかるう。
おう、クツは廊下におくんじやない。それから今夜、
着ているものも頭の下にして寝るんだ。
でない・・・真夜中、いっさいカッパラわれるぜ、異人さん。

哲治、ポールをおっかけていくと、占師のところにとどり着く

哲治

あれ？いったいどこいくんだ？

占い師

ああ、この犬は・・・あんたは？犬だけでしたか？

哲治

えっはい。あの、この犬と一緒に外人さんはいませんでしたか

それがさっきまで一緒にやったのだが留守を頼んでトイレから戻ってきたら、姿を消しとったんじゃないや...

サックを置いていっとるんじゃないや。こっちはです。

SE 雨音 役者が奏でる

古市

異人さん・・・寝ないのか・・・もう午前二時だぜ。

古市がまたせきこんだ。

ジェルマン

ビョウキ・・・？

古市

あなた・・・ビョウキ？

ジェルマン

ああ・・・胸をやられてな。肺病だ。

古市

チュベルキュローズ

ジェルマン

そうか。チュベルキュローズか。いやな名だな・・・

古市

あんたは・・・本当にルンペンか。日本に何をしにきたんだね。

ジェルマン

・・・
言いたくないのか、なら、いい。

古市

どうせ、こちらとは関係のないことだから。

ジェルマン

あなたの仕事・・・

古市

僕か・・・そうだな。金をもらって人を殺すのが商売だ

とでも言っておこうか・・・

ジェルマン

・・・ヒトゴロシ・・・

古市

安心しろよ。おとなしくしていれば、あんたは殺しやしないよ。

助けてもらいたいことがあるんだな

ジェルマン
古市
ジェルマン
そのことナニね。
そのこと・・・ある男を殺すんでね。・・・これア・・・もつとも
金をもらった仕事じゃないが（再び咳き込む）
ヒトゴロシ・・・

ピアノ オルゴール調の寂しい曲。
SE 雨音 強くなる。

古市の台詞でピアノ・SE カットアウト。

古市
ジェルマン
古市
どこへ行くんだ。便所か・・・逃げるんじゃないだろうね。
ノン、ノン、わたし・・・
逃げたってだめですよ。この宿屋は出口は一つしかないからな。
ぼくア、あんたの足音をここできいているから、足音をたてて
行きたまえ。出口の方向に行けばこちらにはすぐわかるんだから。
ヘイ・・・ヘイ・・・

みどり
ジェルマン
みどり
シッ、あたしだよ。渋谷で会ったろ。
オウ、あなた。

みどり
ジェルマン
みどり
静かにするんだよ。
静かにするんだよ。
あなたもションベンか。
静かにつてば・・・一緒にいる男、知ってんのかい。
星野組の古市と言つてさ、肺病だけに血も涙もない男なんだよ。
人を殺すだけじゃない。いつかは自分もきつと、
殺されちまう男なんだ。お前さん、早く逃げなくちゃ・・・

ジェルマン
みどり
ズラかるんだよ！とにかく、なんでもいいから、
外に出たら大通りに出てタクシーに乗ってさ。お前さん、
まだ三千円・・・持ってるんだろ。タクシーに乗ったら
渋谷って言うんだよ。
はい。

ジェルマン
古市
なあ・・・異人さん。

ジェルマン
古市
ジェルマン
古市
はい。
どうしたね・・・便所に行つてたんじゃないのか。
そう、ベンジョね。
行つてきな。バ、オー、シオット。行つてきな、よ。

仕方なくジェルマンは便所へ向かう。だが、その時、
ジェルマンは、ビシッ、ビシッというにぶい音をきいた。

ジェルマン
あなた・・・その女のかた、しんせつですのに、
あなた・・・なぜたたくことします。

古市
ジェルマン
わるい人、タイヘンわるい人。

古市
そうかな、悪いかな。

ジェルマン
古市
わるいよ・・・あなた、この女の人のこと可哀そうね・・・
異人さん・・・おれア、したいことはやる男でしてな、

ジェルマン
他人を可哀そうとア、思わないことにしているんでね。
なぜ！

古市
おれア、人間なんぞ、もう可哀そうと思わないね。

ジェルマン
古市
いや、人間をそう考える気は捨てたから、こんな商売も始めたんだろう。
なぜ、あなた人間のこと信じないか。

古市
信じないんじゃない。信じなくさせられたんだ。

END 『Happy end of the world』

古市
もう何年も前のことだ

予科練生活に入つてた俺が東京に戻つて目にしたのは（空襲警報）
5月上旬にあつた空襲で真っ黒に焼けた、見慣れないふるさどだつた
我が家がどこにあつたのかさえわからない
両親と妹は避難場所になつてた神宮外苑に逃げたが
千発を超える焼夷弾の炎が丸ごとそれを飲み込んだらしい
死体は発見されなかった

M 10 『Happy end of the world』

(コーラスみんな)

Happy end of the world

It`s over over over now

(古市)

ただ一人の家族は

兵役で南方の小さな島にいた兄だけだった

詩を書くのが好きな 優しい兄だった

(ジェルマン)

詩？

(古市)

ポエムのことだ

(ジェルマン)

ポ ポエム

(古市)

一緒だった頃は

詩を書くと、俺にいつも読んで聞かせてくれた

不思議とその詩を聞くと

家族を失った悲しみを忘れることができた

俺にとってその時間は

唯一残された生きる希望だった

その後、

兵役に行った兄貴は

一人になった俺を案じて

南方から何度も詩を書いては送ってくれた

そのころの俺にとっては

苦しい労働も身寄りがない寂しさも

兄が戻るまでと思うだけで希望へと変わった

・
・
・

だが、ある日をさかいに

詩が送られてくことは無くなった

兄貴は戦犯にかけられ現地の刑務所に送られていたんだ
強盗に入り、居合わせた村人を殺害したという罪でな

(ジェルマン)

お兄さんほんと？

(古市)

全部でたらめだ

兄貴は はめられたんだ

間も無く兄は・・・死刑となった

(コーラスみんな)

Happy end of the world

It's over over over now

(古市)

俺は復員局にいき

兄と一緒にいた復員兵を一人一人調べあげた

そして半年かかって、ようやく事の真相を掴んだ

兄貴は何の罪も犯しちやいなかった

はめられたんだ

俺の兄貴を殺したのは・・・上官どもだった

ある日兄貴は上官どもが企てる卑劣な計画を耳にしてしまった

「一般人が住む村を襲撃して、金品を奪い女を陵辱する計画を」

正義感の強い兄貴は必死で上官を説得したが

聞き入れてもらえず、そのまま犯行は行われた

そして、真相を知っている兄貴のことが

邪魔になった奴らは

全ての罪を兄貴になすりつけた

俺の優しい兄貴は上官どもに裏切られ殺されたんだ

奴らは俺の生きる希望を奪いやがった

そしてその上官どもは

今でもこの日本でのらりくらりと生きてやがる

(コーラス)

価値観が 宗教が 国家が 家族が

(古市)

音を立てて崩れ去った

兄貴と俺をつなぐ絆がばらばらに断ち切られた
(コーラス)

俺たちの未来を奪ったのは誰だ！

(古市)

なんていまさら叫ぶつもりもない
だけどオレはもう
人間を信じてない

ピアノ カットアウト

暗転

2幕

M 11 『puzzle』

占い師

ジェルマン・ボナパルト・・・

お前は何をしにこの世にやってきた
吹き来る風が君に問う

胸の隙間を埋める たった一つのパズル
探し出すために 旅している

僕らは世界のパズルのひとつかけら

世界は宇宙のひとつかけら

そして宇宙は僕らの胸の中にある

出会いの数だけ銀河はある

君の流した涙が 眼差しを深くする 君を曇らせた雨が 笑顔を輝かす
無駄なパズルなんかない
間違いは存在すらない 不幸こそ君が試される時

たった一つのパズルがかけても
今の君はいなかった
たった一つの奇跡がかけても僕は君に会えなかった

君はもう充分に傷ついてきた
傷つけたよりも傷ついた 罪を許すんじゃない人そのものを
許してあげて 君自身を許してあげて
今の自分を 愛せないことは
全ての過去を否定すること
君のおばあちゃんの恋 お母さんの恋 無数の愛を君は受け継いで ここにある

そう一人一人が不完全だからこそ
僕らは求め合いそして愛し合う
きつとパズルは終わらない
永遠に完成などしない愛に終わりがないように

たった一つのパズルがかけても
今の君はいなかった
たった一つの奇跡がかけても僕は君に会えなかった

コーヒー店で聖は井上青年と待ち合わせる事になっていた。
十時という約束なのに、井上はまだ約束のコーヒー店にあら
われていなかった。

聖
女性を待たせるなんて・・・失礼な男

いつかの新宿事件以来、聖はこの井上を
軽蔑するようになっていた。

ああ、本当に頼りがいのある男性に会ってみたいわ・・・。
失敬しました、聖さん。ずいぶん、お待たせしたでしょうね。

いいえ・・・わずかに十分ほどだわ。
ねえ、聖さん。ぼくのこと、あれ以来、誤解していらつしやるんでしょう。

誤解なんかしていないわよ、全て事実。

聖さんって、今まで男性について本気でお考えになったことなんかないんでしょう。
あら・・・どうしてかしら。あたしだって・・・女の子だもの。

好きな男性のことなら・・・

好きな人がいるんですか？

そりゃ・・・いるかもしれないわ。

だれです。そりゃ・・・まさか・・・例のフランス人じゃ、ないでしょうね。

例のフランス人？

聖 井上
聖 井上
聖 井上
聖 井上
聖 井上

井上 聖
井上

ええ、あのムツシュ・ジェルマンとかいった・・・
・・・（大きな声で笑う）
そうだな。オツムの弱そうな外国人に、
聖さんが心をひかれるはずはありませんからねえ・・・
実際、ぼくも驚きましたよ

聖 井上

あれで本当にフランス人なんですか。知性もないし、教養も
あまりあるとは思えませんね。

聖

それに最低じゃないですか・・・あの洋服や御面相は。
失礼だわ。あの人のこと、そんなにおつしやるなんて。
・・・あたし・・・あなたなんかよりジェルマンさんの方を
ずっと高くかっているわ。

シーンチェンジ

古市

山谷は朝が早いな。

再び咳き込む古市。

ジェルマン

あなた、なぜ医者さん行かない？

古市

医者か。・・・異人さん、あんたは自分のことを心配するんだね。

ジェルマン

・・・

古市

だが。あんたもおかしな人間だな。昨日一日なぞは

ジェルマン

おれから逃げようと思えば逃げられたのに、なぜ逃げなかったんだ。

古市

・・・
あんたの名前は何かというんだい。

ジェルマン

ジェル。

古市

ジェルか。・・・なあ、ジェル。おれにはたった一人の兄貴がいたんだ。

佐藤

古市さん。

古市

おう・・・ジェル、乗るんだ。

佐藤

ほう・・・この外人の名はジェルというんですか。

古市

佐藤

古市

ジェルマン

古市

ジェルマン

古市

ジェルマン

うん・・・それよりも例のことは調べてくれたかい。
心配はいりませんよ。
ご苦労だったな。
ノン、ノン古市さん・・・兄さんの殺されたこと苦しいね。
それわかります。しかしダメ。人間のこと憎む、恨む・・・
それ、もつと悲しいね
ふん・・・センチなやつほどいやなものはねえやな・・・
いいから、走らせる車を。この男が車から飛びおりて
逃げるかもしれねえ。・・・やつア、今、その気なんだ。
おう、逃げたいだろう？
伊ヌさん・・・
なんだって？・・・

あなた、ポールさんに似ている。

BGM 『Sunday』

ジェルマン
古市
ジェルマン
古市
ジェルマン
古市

・・・古市さん、伊ヌさんのこと好きね。
おれが・・・なぜ、そんなことをきくんだ。
わたし伊ヌさんが好き。古市さんも犬さん好きね。古市さん、子供さんは好きか。
うるせえな・・・
好きか、きらいか・・・
うるせえ！！

BGM cut

古市

わからねえのか・・・

佐藤

古市さん、ペアだぜ、この外人ア・・・

シーンチェンジ

聖　お兄さま。ジェルマンさんらしい人間のことが朝刊に載ってるのよ！
哲治　なんだって。どこに、どこだい。
聖　ここよ。

月曜日の夜、目黒坂で非常警戒にあたっていた目黒署の警官に
男子用ふんどしを寄贈した外人があった。
ねえ・・・ジェルマンさんじゃない・・・これ。

哲治　さてよ、月曜日というと・・・
聖　一昨日だけど・・・
哲治　おれア、すぐ出かけるよ。

どこに行くの？
占い師のとこだ。

聖　占い師？
哲治　話したろう、おとといの月曜日、会社の帰りにあの野良犬を見つけてな。

ついて行ったら、その占い師のところに辿り着いたんだ

聖　その人なら、何かわかるかもしれない・・・聖もついてこいよ
ちよつと待ってよ。お兄様、よほどあのジェルマンさん

哲治　という人間を愛してらっしゃるようね。
うむ。君はどうなんだい。ジェルマンのことを

聖　愛していないのかい？
あたしが？バカにしないでよ。あんな・・・あたし、

哲治　間拔けて大嫌い
そうかねえ、聖はまだ本当の男を見抜く目がないんだなあ・・・

渋谷に向かう
シーンチェンジ

佐藤　ここですよ、古市さん。

古市　ここか・・・

ジェルマン　ジェル・・・これもつてくれ。
古市　オウ、古市さん、ボウ・ギャルソン（美男子）ね。
古市　だろう。

古市はネクタイを締め直す。髪の毛を整えるとそこに川田がやってくる。

・・・やつが来たぜ。キツチリ11時だ・・・

ジャケットを受け取り身なりを整える。

川田さんでいらつしやいますか。・・・さきほどの文化交流会の者で...

・・・
お電話でお話したとおりですが、白人の女性のどういう方が御希望か・・・

責任者をお引合せするのが一番よろしかろうと思ひまして・・・
こちらがその責任者のサドさんで・・・

ふうん・・・白人の女で、どんな種類の玉やね。

たとえばですよ・・・キャバレーで踊っているストリップパーの白人女性や、香港経由で日本に巡業に来た外人のジャズシンガーなどが、

小遣いを稼ぐために、当社のクラブに連絡してくるんですよ・・・
ところでいかがでしょう。実は二人ほど白人の女性を待たせてあるのですが・・・

えっ、手まわしええなあ。じゃ、ちよっと紹介してもらおか・・・。
(ジェルマンの耳に) テ、トワ、サクレ、ジェル(おかしなまねしやがるな) 川田さん、こちらへ

シーンチェンジ

占い師

それであ、昨日、知り合いの女から聞いたんだけど
浅草に近い、山谷っていうところであ、

ジェルマンさんが男と一緒に泊まってるところを見つけたって
あんた、その男っていうのが、星野組の古市っていうて

有名な殺し屋なんです。
古市??? 殺し屋・・・

ああ、詳しくお話しましょう。さあさあこちらへ。

シーンチェンジ

古市は男とジェルマンとの間に身を入れ作業場の方に歩きだした。
SE 鉄をつく響き。がすぐ近くで聞こえてきた・・・

作業場のたかい音がさらに板べいの奥からきこえてくる。

川田 白人の女が・・・こんなところで待つてんのか。おい、ほんまか？
古市 フン、ほんまやで川田はん・・・目の前にその白人の女はおりました。
川田 なんやと？

古市 おれのツラをよう見てんか。

川田 ・・・・
古市 思いだしませんかね・・・なにかを。

古市 ・・・・
川田 だれやらに似てませんか。だれかの顔に・・・
古市 その男はもう死んでしまったがね・・・おりや、その男の弟ですわ。

彼の足が二、三步うしろに退き、つまずいて転んだ。

古市 さがさせてもらいましたぜ、川田さん。

川田 おれや・・・ない・・・
古市 今さら、なにをぬかしやがる。

川田 おれやない・・・おれあ・・・ありや小森の責任で・・・

古市 おれの兄貴の身になつてもらおうか・・・
川田 そりや、もう、ようわかつとる。古市君、事情を話せば・・・事情ぐらい・・・あんた・・・

SE: 鉄をつつ音、鉄をやく炎の響きがまたきこえてくる。古市が拳銃を取り出す。

川田 アッ、無茶すんな。古市君、おれやないねん・・・あんたの兄貴をはめたのは、

古市 あの小森やで・・・

古市 小森さんには、いずれ、礼をするつもりだぜ。

川田 その前に消させて頂くのは川田さん・・・あんただ。
川田 いややで・・・許してくれえ。

この時、せきの発作がこの肺病の男を襲ったのである。
右手で拳銃を持ったまま、彼は左手で口をおおった。
川田は大声で助けを呼んだが、その声は作業場の

すさまじい音に消されてしまった。

古市

おう、大声出しても無駄ですぜい

ここじゃあ誰にも聞こえませんがからねえ

ジェルマン

おう、ノン、ノン、古市さん、ノン、ノン。

古市

……（川田に銃口を向ける）

ジェルマン

……古市さん。イヌさん、好き。コドモさん、好き。

古市

わたし知ってる。わたし、古市さん、コドモさん好きなこと知っている。なあ、あんた。おれにも妻も、子供もあるのや。子供が二人もあるのや。

ジェルマン
川田

作業場の物音はひとときわ高く、はげしくひびいた。

そして、古市は引き金を引いた……。だが、愛用のコルトはむなしい音をたてるだけ。

拳銃が火を吹いた時、いつもてのひらから腕を通して

全身に感じるあのショックと快感のかわりに

カチリ、むなしく、にぶく、バネがまわるだけなのだ。

カチリ、弾がぬかれているのである。

古市は呆然として

自分の拳銃を見つめていた。

二度、三度、引き金をひく。

SE 鉄の音カッタウト

古市

お前が……

ジェルマン

……お前が弾をぬいたのか……

古市

……お前が弾をぬいたのか……

この時、古市のわずかのスキを見つけた川田は

体を起こすと、恥も外聞もなく、

全身からふりしぼるような悲鳴をあげて走りはじめた。

肥ったその小さい体は意外にも弾丸よりも早かった。

古市が手を伸ばす暇もなく、消えてしまった。

古市 お前が・・・
ジェルマン オウ・・・はい。ごめえなさい。ごめえなさい。

突然、古市の右手がとんで、ジェルマンの顔といわず、
胸といわず、すべてこぶしのぶつかる部分を乱打した。SE:殴る音

古市 お前、おれの・・・
ジェルマン 痛い、痛い。
古市 お前、おれの今日までの辛さも知らずによ・・・今日までの辛さをよ・・・
ジェルマン 痛い、痛い。
古市 今日までの辛さをよ・・・

体力も尽きて、この肺病の殺し屋はへいにもたれかかると、
しばらく肩ではげしくあえいでいた。

古市 いつ弾を・・・ぬいたんだ。
ジェルマン・・・古市さん、私に洋服預けた時・・・
古市 あの短時間で・・・お前・・・何者なんだ・・・

古市去ろうとする。

ジェルマン どこ行くか、古市さん
古市 どこ？どこに行こうとこちらの勝手だぜ。
ジェルマン わたし、古市さん、一緒に行きますね。
古市 一緒に？お前おれについてきてまた邪魔しようというのか。
ジェルマン 古市さん。わたしとあなたトモダチ。
古市 トモダチ？

BGM 『光の子どもたち』

古市 冗談じゃねえよ。もうお前などには用はねえ。どこにでも消えちまいな。
ジェルマン 古市さんのことスキね。助けたいです。

古市
ジェルマン

古市

助ける？おれがもう一人の男を消すのを助けようと言うのか。
そのことではないね・・・古市さん、一人ぼっち。
一人ぼっちだからトモダチ、いりますね。
黙れこの野郎・・・おれア、お前のような男が一番、きらいなんだ。
胸くそのわるいセンチなことをぬかしやがって。

古市が拳をふりあげると、ジェルマンはヘッピリ腰で四、五歩逃げた。
古市はコルトを逆さに手に握ると、ゆっくりジェルマンにちかよって行った。

ジェルマン
古市

ジェルマン

古市

ジェルマン

古市

ジェルマン

オウ、ノン、ノン・・・
なんでついてくるんだ
・・・
なぜつけてきているんだ。
これ、わたしの決心。
なんだって・・・なにお前の決心なんだ。
あなた捨てないこと・・・ついて行くこと。
おい、お前よ。
はい。
おれア、憎しみ以外は信じない男なんだぜ。
それウソのこと。
ウソのこと？・・・何がウソなんだよ。

ジェルマンをなぐる。

古市
ジェルマン

ジェルマン
古市

痛いか、おい、苦しいか。
イタイ、イタイ。
善人ぶりがあってよ。愛情とか信頼などはみんな便利だから
使っている合言葉よ。・・・おれはもう、そんなものア信じない
イタイ、イタイ。
一歩でもついて来やがれ。おれア、本当にお前を殺すぜ。

そう言うとき古市はジェルマンから手をはなし歩きだそうとした。

ジェルマン
古市さん

ジェルマンがへいに手をあてながら古市のあとを歩きだしたのを見ると、
右手に持った拳銃の柄で、
ジェルマンの額を力まかせになぐった。グワン—
BGM カットアウト
金属の棒を地面にたたきつけたような大きな音がした。
ジェルマンはくるくるとコマのようにまわると、
地面に大木のように倒れた。

暗転

警察署

哲治
警官

怪我をしていると聞きましたが・・・
ちよつとした打撲傷ですね。・・・額に血がながれていたの
一時はちよつとした騒ぎになったけど——警察で取調べた結果、
作業場で転んで鉄棒で頭をうったとジェルマンさん自身が
申し立てるので、保護室で治療休息させておいたというのであります。
あの外人さん、存外ノンキな男ですね。晩飯もパクパクたべて、
さつき見に行ったら毛布をかぶって寝とりましたよ。
はあ・・・なるほど。

哲治
警官

警視庁に連絡しましたら、今のところ古市は手配を受けとる
指名犯じゃないから、外国人の方はそのまま釈放してよいと
言ってきました。じゃ、こちらで少々お待ち下さい。

哲治

だが、古市からはいつ、どうやってジェルさん、逃れられたんだろう

ジェルマン起き上がる

ではこちらにどうぞ

ジェルさん。心配したぜ。

しんばい、ない。

頭の傷は大丈夫なの。

ダイジョウビ
いたいこと、消

そこ、

ハイ。

なぜ作

古市

ハイ。

だから、ぼくたちは、そりや心配したんだぜ。

•

•

○

ハイ。

知ってたのかい、ジェルさん。古市がどんなに悪い奴か・・・

イイエ、哲治さん。古市さんは悪くないね。

えつ

古市さん 悪くないね

そうか
行こうか

三人歩き出す

ほら、ハチ公も見えてきた。ジェルさん、渋谷だよ。覚えてるだろう。

オウ……シブヤ。ハイ……イヌさん。

イヌさん？ああ、あの野良犬のことか。占い師が面倒みてるよ。

イヌさん、見たいです。

三人で相づちをうつ。

占い師とみどりが来る。

ピアノ out

みどり

あんた、無事だったんだね。

ジェルマン
みどり
占い師
わたし問題ない。あなたはダイジョウビか？
あたいは大丈夫だよ。それより・・・すまない・・・
今日の夕暮れ・・・あなたのボールを犬殺しが
つかまえていきやがったんじゃない・・・

ジェルマン
犬コロシ・・・オウ、ノン、ノン。

哲治
ポールさん、イヌさん・・・
そう嘆くなよ、ジェルマン、犬は三日間は東京の抑留所で飼われているんだから、
まだ助かる見込みはあるさ。

ジェルマン
哲治
それ、どこ。そこ、わたし今、行きます。今。
今から？

聖
ジェルマン、その体じや無理よ

今日はゆっくり休んで明日にしましょう。

大丈夫、明日なら、あたし一緒に行けるから。

哲治
ジェルマン
ジェルさん。明日にしようや・・・
はい・・・

翌日——暗転 不吉な音楽 BGM

聖
ジェルマン
ジェルさん、昨日は結局一睡もしてなかったでしょう
はい・・・

犬の抑留所の人
ああ、さっき電話をもらった日垣さんですね・・・ひよっとすると、その犬はもう処分されている
かもしれないがね・・・

聖
え・・・でも・・・

犬の抑留所の人
野良犬は飼犬とちがうので、その日に殺すことになってますから。・・・こちらです。

青年にうながされて、中にはいると、ある犬は金網にとびつき、
ある犬は尾を懸命にふり—ジェルマンと聖に訴えるのである。
(役者が犬の鳴き声を演じる)

犬の抑留所の人
よっほど大好きなんですわね。

その一匹一匹の犬に金網ごしに指を入れてジェルマンは、
なにか慰めたり、頭をなでたりしていたが、すみまできると、
突然、足をギクリととめた。

ピアノ緊張感のある音。

ムシロの上に一匹の犬がもう硬直した姿で転がっていたからである。ポールだった。

犬の抑留所の人

聖

ジェルマン

遅過ぎたんですね。昨夜にでも来てくだされば間に合ったんですけど・・・

昨夜・・・

オーノンノン、ポールさん、ノン、ノン・・・

M 12 『Fragile』 1番

(唄1)

愛なんてわからないよ
ぼくにはむずかしすぎて
うつむくだけ

ああきみは

去ってゆくんだね

なにもできない僕が

やるせないよ

自分に正直に生きることとは

とてもむずかしいことだね

きみを傷つけた

きみを悲しませた

僕は何も出来なかった

Wow Wow Love is fragile

Wow Wow Love is fragile

手をふれた刹那くずれてゆく

愛はこわれもの

間

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

聖

ジェルマン

ねえ・・・行きましようよ・・・ジェルマンさん、かわりの犬、見つけてあげましようか？

・・・じゃ、いつまでもクヨクヨしないのよ。

ジェルマンさん、今夜はお兄さまを誘いだして、どこかでさわがない？

聖さん・・・わたし・・・今夜、東京離れます。

北・・・

北じゃわかないわ。

古市さんのところ。

古市さんって・・・まさか・・・あの男じゃないわね。

・・・

ちがうわね・・・ジェルマンさん、ちがうわね。

わたし行く・・・今夜です。

今夜って何考えてるのよ。

古市さんわたしのトモダチ。ポールさんと同じ。

知っているの、あの男のことジェルマンさん。

はい。

知らないわよ。あなた、あの男にどんな目にあわされるか

分からないのよ。こわくないの？

こわいです。

こわいならなぜ行くのよ・・・ジェルマンさん・・・

・・・

じゃ、あなた古市がどこにいるか、知ってらっしゃるのね。

ジェルマンはうなずいた。ポケットから一枚の紙を出して、

大きな指でそこに書いてある鉛筆の走り書きを指さす。

岩手県、宮古市。

古市はこの岩手県宮古市の小森さんのところにいるのね。

あたし、警察に知らせるわ。

ノン、ノン、ダメ、ダメ。古市さん、なにも悪いことしません。

聖さん、イワテ、行くところ、どこから汽車に乗りますか？

聖 冗談じゃないわ・・・ジェルマンさん。行ってはいけないわ。

せめてお兄さまに会ってからして。

ジェルマン ・・・・わたし、哲治さんに会いたい・・・

聖 じゃ、今夜、家に戻ればいいじゃないの。ね、そうしましょ。

兄ともよく話して、それからゆっくり岩手に行くことを
考えたっていいじゃないの。

ジェルマン そのことダメ。

聖 なぜダメなの。

ジェルマン 早く行くこと必要・・・

聖 どうしてそんなに急ぐ必要があるのよ。・・・

あなたバカなんじゃないの もうっ

・・・じゃあ、ともかく、どこかで御飯たべましようよ。

私お腹すいちゃったわ。少しくらい付き合ってくれてもいいでしょ？

ジェルマン ・・・・はい。

岩手。小森に近寄る古市。

古市 小森さん、お久しぶりですね。古市です。忘れたなんていわせませんよ。

小森 あ、あ、あ・・・

古市 どうしました。小森さん

ジェルマンは相変わらずパクリ、パクリ、

河馬のように大きな口に料理を放りこんでいる。

聖 ねえ、ジェルマンさん。

ジェルマン ふあーい。

聖 前からお伺いしようと思ってたんだけど・・・

ジェルマン ・・・・ジェルマンさん、いったい何のために日本にいらっしゃったの。

ジェルマン ふあーい。

聖 こんなことおたずねして、失礼だったかしら。

ジェルマン ふあーい、しつれない。

聖 じゃ、お伺いするわ。あたし、いつもそのことが、ふしぎだったのよ、

ジェルマン

ジェルマンさん。なんのために・・・ジェルマンさん。
あなた、日本にいらっしやったの？

聖

ふぁーい。
きつと何かかくしてらっしやるんだわ

ジェルマン

ねえ、ジェルマンさんには恋人がいらっしやるの。

聖

コエビト・・・
コエビトじゃないの。コ・イ・ビ・ト。好きな女の人のこと。

ジェルマン

おう・・・それならわたしは聖さんのこと好きです。

BGM「ありがとう」

聖
ジェルマン

そうじゃ・・・そうじゃないのよ、ジェルマンさん。
いいえわたし聖さんのこと、好きね。
ありがと・・・でもジェルマンさんとあたしは恋人じゃないわ。
恋人じゃないのよ。

ジェルマンが伝票を素早く受けとる。

聖
ジェルマン
聖
ジェルマン
聖
ジェルマン

あら、だめよ・・・。ここは、あたしがおごらせて頂くわ。
いいえ、聖さん、わたしお金、払う。
ジェルマンさんは旅行者。お金は大事にしなくちゃ・・・
お金・・・わたしは知らない。
なんですって・・・
お金、わたし知らない。それに・・・
・・・今夜・・・わたし聖さんにごちそうしたいです・・・

SE 笛

車掌

まもなく金沢行きの列車がまいります。
ご乗車の方は改札口へお進み下さい。

ジェルマンは店を出ると足をとめて大きな掌を聖にさしだした。

ジェルマン　さようなら、聖さん
さようならって・・・ジェルマンさん、あなた本気で・・・
行きます。
聖　ジェルマンさん・・・よしてよ、ジェルマンさん。

ジェルマン　行かないで、ジェルマンさん・・・あなたは知らないのよ、
なにも知らないのよ。
聖　知ってます・・・知ってますね。
ジェルマン　なにを知っていると言うの。あなた・・・
生きることもなかなかむづかしい。
聖　え？
聖さん、わたし弱虫・・・だから一生ケンメイやらねばならない。困りました。

ジェルマン　あの山イモのような大きな顔に、いつも眠そうな目から一すじ二すじ、
白い大粒の涙が流れている、馬が泣くようにジェルマンは泣いている。
さようなら・・・聖さん。

くるりとうしろをふりむくとジェルマンは歩きはじめた。
何も言えず、立ちどまっている聖のところへ戻ってくるジェルマン。
ジェルマンは微笑しながら、聖をなぐさめるように彼女の
肩に大きな手をおいた。

聖　本当に行くのね・・・
ジェルマン　だいじょうび、心配のことない。
聖　わからなくなってきたわ・・・あたし。
ジェルマン　あ？
聖　あたし・・・あなたがわからなくなってきた・・・
ジェルマン　・・・わたしバカ・・・弱虫。

おどけて、聖を笑わせようとして、ジェルマンは自分の頭を指さす。
しかしその言葉は彼をバカと考えていた聖には痛烈な皮肉のように
感ぜられた。彼女は思わず顔をあからめて・・・うつむいた。

列車の汽笛がかなしく響いた。
SE 笛（電車の発音）

車掌（小倉）

（20:35 発、福島、仙台、盛岡行き普通列車にご乗車の方は
12 番線の改札口からおはいりください……）

聖

これよ。

ジェルマン

サヨナラ、聖さん……わたし、聖さんほんとにすきでした。

そして彼の大きな体は、くるりとうしろをむくと、
同じ汽車に乗る人々に囲まれながら改札口に向かって遠ざかっていった。

聖

待つて……待つてよ、ジェルマンさん。

ジェルマンさん、あたし……行つてらっしゃい。

SE 電車の発音（笛）

聖

ジェルマン

……それを言うのを忘れたの。行つてらっしゃい
イテキマス。

M 13

『ありがとう』

1 番

（唄 2）

素直じゃなくて ごめんね

勇気がなくて ごめんね

まっすぐとだけ この想い

たった五文字の一言

（聖）

ほかの誰かじゃ いけなかった

あなたじゃなくちゃ いけなかった

泣きそうなほど うれしくて

たった五文字の一言

(聖 & 唄 2)

出会ってくれて ありがとう
愛してくれて ありがとう
あなたの すべてに ありがとう

(聖)

ただ それ だけ
そばに いるのに 言えなかった
てれくさくって 言えなかった
何度ものどに でかかった
立った五文字の一言

次の日。夕方。喫茶店

なんだい、急に用事って。

ごめんなさい。それがねえ・・・

ジェルさんのことだろう。

えっ？どうしておわかりになったの。

だって、おれも昨日からずっとジェルさんのことを考えているからさ。

・・・今ごろ、なにをしているのかしら。

おれはね、聖。会社から一週間ほど休暇をもらおうと思うんだ・・・

そしてジェルさんそこに行こうかと考えてる。

・・・

ジェルさんを見捨てるってことは、なんだか自分の心にある

一番よいものを見捨てることになる・・・そう思ったんでね・・・

おれは行くよ。

あたしも、ついて行くわ・・・

君が・・・君までわざわざ行く必要はないだろう。だって、君は、

ジェルさんのような男にはこれ以上、迷惑をかけられたくないって、

いつもこぼしていたじゃないか。

じゃ・・・お兄さまはなぜジェルさんとこにいらつしやるの。

おれにはおれのジェルマン観がある。君は彼をばかにしていた。

でも、おりや、ちがうからね

哲治 聖
哲治 聖
哲治 聖
哲治 聖
哲治 聖
哲治 聖
哲治 聖

聖

あたしだって・・・軽蔑していたわけじゃあないのよ。彼がお人好しすぎるぐらい善人であることは見ぬいていたわ・・・

でもやっぱりあの人には男らしい強い所が欠けてたわ。あの顔、あの服装・・・そんなことはなんでもないけれど、弱虫よ。臆病だわ。女のようにメソメソしたところもあるじゃないの・・・

あたしたち女の子には、あまり魅力ある男性とは思えないと思うわ。なるほど・・・そうか、いや、そうだろう。

どう、お兄さま。あたしが少しぐらい誤解したって、あたりまえじゃないの。だがねえ、聖、人間はみんながみんな、美しくて強い存在だとは限らないよ。

聖 哲治
哲治

おれがジェルさんを好むのはね・・・彼が意志のつよい、頭のいい男だからじゃないんだよ。弱虫で臆病のくせに、彼は彼なりに頑張ろうとしているからさ。おれには立派な成人や英雄よりも・・・はるかにジェルさんに親近感を持つね。

間

聖 哲治

でもねえ、一体あの人、日本になんのために来たのかしら。うん、それがおれにもさっぱり、わからんのだがねえ・・・ふしぎなナゾのような人間でもあるね、あのジェルさんは・・・

BGM アウト

何をおっしゃってるんです。

か、か、か・・・かえす。

かえす？・・・ああ、兄貴が見つけた証拠のものか

小森さん。隠してたものを出してもらいましょう。

こ、こ、ここじゃない。沼だ。

古市 小森
古市 小森

沼？沼ってのはなんなんだ。え、そうか。

お前はその証拠の品をそこに隠してるのか。

お、おれじゃねえ、ありや川田にたのまれて・・・

古市 小森
小森

古市

いいからよ、小森、明日ももう一度、顔をだすぜ。
出かけようじゃないか、そこに。

小森

わかった・・・

古市

逃げたって無駄ですからね。

小森走って去る。

ジェルマン

古市さ～～～ん。

古市

・・・

ジェルマン

古市さ～～～ん。

古市

お前・・・

ジェルマン

マテください、古市さん。ポエム！！・・・わたし電車の中、ポエム書きました。

お兄さんの好きだったポエム書きました。

あなたに、どうしても伝言したいことがあります

ふしぎに古市はぼんやりと相手が自分のそばに近づくのを感じながらその場に立ち尽くした。

M 14 A 『ミタクオヤシン』

(ジェルマン語り、唄1が歌う)

あなたが花をながめるとき

花もあなたを見つめている

(ジェルマン & 唄1) あなたが鳥の歌を聴くと

鳥もあなたに耳を澄ます

ミタクオヤシン

すべてのつながるものへ

ひとつひとつの命が

そっと寄りそい合う

この世界が減んでも

声からして歌うから

ひとりぼっちじゃないと

きみのために歌うから

なんと傷ついたって
どんな馬鹿にされたって
ひとりぼっちじゃないと
きみのために歌うから

ジェルマン

・・・ために歌うから

古市倒れる。

ジェルマン

古市さん、だいじょうびか？

ジェルマンは倒れた古市をおぶって宿屋に運ぶ。

照明アウト

照明に合わせて曲もなくなる。

お兄様 お兄様

どうだった？

聖 哲治

町はそんなに広くないし・・・それに外国人なら目立つから

すぐわかるでしょうって言ってたわ。ともかく、今夜、

方々の旅館に電話してくれるそうよ。

そうか・・・

警察に連絡しないでもいいかしら。

聖 哲治

それはあとまわしにしようよ。事はまだ重大化してないんだし
・・・ジェルさんだって罪人あつかいにされるのはいやだろう。

なに見ているの。

聖 哲治

地図。しかし沼の多いところだな、この辺は。

な、聖、沼なんて・・・ちよつとロマンチックじゃないか。

ジェルさんが見つかったら、三人でハイキングに行かないか・・・

ええ・・・そうね。

聖

シーンチェンジ

古市
ジェルマン
古市
ジェルマン
古市
ジェルマン
おい・・・おれのあとをどこまでつきまといてくれるんだね。
古市さん、あなた病気・・・病気がおりました時、さよならするよ。
おりや・・・いつまでもここに寝こんじやいねえよ・・・
あと少ししたらもう起きるんだ。
・・・ダメ、そのわるいわるい体・・・
ダメと言ったって起きなくちゃならないんだ。
・・・

古市
ジェルマン
あんた、名前はなんていうんだ？
ジェル
ジェルか・・・おい・・・おれがおまえをどう思っているか教えてやろうか。
おれは・・・いつかはおまえを殺すような気がするね。

ジェルマン
古市
ああ・・・シンのシンからきらいだ。
お前のそのとぼけた顔を見ると吐気さえする。・・・五時か・・・

ジェルマン
古市
どこ行くか、古市さん。
どこでもいい。帰りたければ帰るんだな。

殺し屋は胸を左手でおさえながら、苦しそうに息を吐いた。

間

小森が来る。ヨレヨレのレインコートを着て、長ぐつをはいている。
古市と小森は何やら二人で話している。

古市
おい、これを持ってくれ。

小森が持ってきた太いなわと大きなスコップとを手わたした。

ジェルマン
ナカヨシか。（熊の子隠れたかくれんぼ、お尻を出した子一等賞・・・）

小森 大丈夫かね、あの外人は。

古市

小森 別にうたがうわけじゃ、ねえけんど・・・

古市 あんたはおれのやることに文句があるんですか・・・

小森 ここだ。水面から木が出てるだろ、あの下だ。

古市 よし、ここで見張っているから・・・あれをとってきてもらおうか。

小森 わしがか・・・とてもこんな冷たい水の中には入れんよ。

心臓が弱いんでな。

古市 あんたが心臓の弱いはずがあるものか。

古市は皮肉な笑いをうかべてポケットから手を出した。

黒い危険な物体がその掌に握られていた。

小森 わかつとる。わかつとるよ。

古市 じゃあ、はいりな、はいらねえのか。

小森 ゆるしてくれ。なあ、古市さん・・・わしは本当に心臓がわるいんだ。

古市 おれの知ったことかよう。

小森 わしや・・・古市さん・・・

二人をじつとながめていたジェルマンが、

地面に腰をおろしたのはこの時だった。

地面に腰をおろして、彼は自分のドタぐつのひもときはじめた。

古市 なにしてんだ、ジェル。

ジェルマン 小森さん、体わるい。わたしはいります。

（水中ジャラジャラ音）ジェルマンはヤツデのような足を水の中に入れて笑った。

ジェルマン おお、冷たいね、この水。・・・古市さん、なにさがしますか。

小森 木の下に箱がある。それを取ってくれ。

ジェルマン 分かりました・・・おー冷たいねー。ん？

腰まで水がつかる地点にきて、はじめてジェルマンは足もとの地面が急にヌルヌルと変わったのを知り、それと共に両足が次第に泥の中にはまりこんでいくのにやっと気がついた。あわてた時にはもう遅かった。片足をあげようとすれば、もう一方の足が泥の中にふかくめりこむのである。

ジェルマン 足・・・古市さん、わたしの足・・・

ジェルマンに気を取られた古市は一瞬気が緩んだ。この時、地面に置かれたシャベルを小森が素早く拾いあげる。小森は、その小さな体を弾丸のようにぶつけてきた。古市は拳銃を手を持ったまま、転倒した。その手の上にガアンと、にぶい音をたてて――小森はシャベルをたたきつけた。コルトはにぶい銃声を沼の上に響かせた。

小森 死ね・・・死にやがれ、死ね・・・

次々とふりおろしてくるシャベルから身をかわしながら、古市は立ち上がろうとする。二人は息づかいもなく、しばらくの間、格闘していた。

ジェルマン 古市さん！

小森の叫び声を耳にしたジェルマンは両足を泥の中に入れたまま、声のかぎりに殺し屋の名を呼んだ。夢中で手足を動かす。池に放りこまれた野良犬と同じような犬カキになって一メートル、また一メートルすすむ。

小森 死ね、死にやがれ。

無茶苦茶にシャベルを振り回して、彼はコルトの転がっている

浅瀬に少しずつ近づいていった。それをとらせまいとして古市は空気を切るシャベルを避けながら、小森のすきをねらった。この時——やっと岸近くまではいあがったジェルマンが、大きな手をひろげながら、

ジェルマン　ダメ、ダメ。そのことダメ。

ガンッ・・・一瞬時が止まる。頭に渾身の一撃をくらった。重い鈍い音だった。ジェルマンは両手をダランとさげたまま、仁王立ちになっていた。緊張が走る中ジェルマンはぶつぶつ何かを口ずさんでいる。

ジェルマン

ミタクオヤシン
すべてのつながるものへ
ひとつぶひとつぶの涙が
いつか時を変える
なんて倒されてでも
どんなにかっこわるくても
ひとりぼっちじゃないと
きみのために唄う・・・

そしてついに、水音をたててジェルマンは大木のように沼の中に仰むけに沈んだ。古市はやっと自分を取り戻していた。ぬれた地面の上に落ちた拳銃は、素早く彼の右手に握られていた。

小森・・・死にやがれ

ジェルマン

古市さん!!!

古市

ん？

ジェルマン

ノン、ノン、誰もきずつけないねー

古市

なに？

M
14
B

水の中から血まみれの馬ヅラを河馬のように出して、
ジェルマンが叫んでいるのである。
曲中、同時に芝居が進行する。

(唄1)

ミタクオヤシン

すべての繋がるものへ

7つの世代をこえて夢を伝えていこう

この世界が減んでも

声からして歌うから

ひとりぼっちじゃないと

きみのために歌うから

なんと涙ながしても

どんな孤独の中でも

ひとりぼっちじゃないと

きみのために唄うから

きみのために唄うから

(ジェルマン)

君のために歌うから

歌と同時に芝居が進行する。

ジェルマン

ノン、ノン、古市さん。

古市

……

ジェルマン

わたしの……おねがい。

古市

……

ジェルマン

ノン、ノン……古市さん、わたしのねがい……

古市

……

ジェルマン

ノン、ノン、わたしのねがい。

この言葉は彼の昏睡した頭のなかで入り乱れはじめた。

古市は氣を失って倒れた。小森はこの音に目をあけた。これは、彼にとつて思いがけないチャンスだった。シャベルを握る。ふりかざす。この時水中から、突然、傷だらけのジェルマンの顔が浮び上がったのである。

ジェルマン

ダメ！！！！！！

小森

ぎゃー！！！！！！

ジェルマン

君のために歌うから・・・

声は沼全体にひろがるほど大きかった。シャベルを手にした小森は、クルリとうしろを向くと、ネズミのような速さで道の方に走り去った。

歌終わりでジェルマンが古市を抱きしめる

BGM『ミタクオヤシン』さび部分が壮大に鳴る中、暗転。

エピローグ

警官（声のみ）

ああ、日垣さんですね。たった今、古市という殺し屋が大沼という所で見つかりました。現場には相当はげしい格闘のあとがありまして・・・。古市の体にもかなりの傷が残っていましたが、先ほど幸い息を吹きかえました。ただ・・・一緒にいたはずの外国人の形跡がないんですよ。昏睡状態にあった古市が病院での取調べで告白した話はさらに不思議でしたよ。

古市

俺が氣を失ってから——どれくらい経つたろうか、霧がふたたび俺のほおをぬらした。かすかに目をあけると空の一角が青く晴れているのが見えた。そしてその青い空にむかって、一羽のシラサギが真白な羽をひろげながら、飛び去っていくのが目にうつった。おぼえているのはこれだけだ。

照明変化。

聖

ねえお兄さま、ジェルマンさん、東京に戻っているんじゃないかしら・・・
ひよっとするともう家に着いているかもしれないわね。

哲治はかなしそうに微笑む。その時、一羽のシラサギが
青空に向って飛びたつ。

SE シラサギの飛び立つ音

哲治

あ、シラサギ

哲治はそのシラサギにむかって小声でつぶやいた。

哲治
古市

ジェルさん・・・・・・・・さようなら。
・・・・・・・・さようなら。

暗転

M 15 『ウレシパモシリ』

(唄1)

わたしは大地 わたしは大空 わたしは月
わたしは太陽 わたしは花 わたしは鳥
そしてわたしはあなた

ふたつの道を目の前にして自分自身が迷ったときは
道ばたの石をめぐってごらん そこにわたしがいるから
自分で積んだ不幸の壁に閉じこめられておびえる夜は
星を見あげて話してごらんそこにわたしがいるから
わたしとあなた へだててる線が消えてく
わたしたち 同じ愛から生まれたの

わたしは涙 わたしは笑顔 わたしは孤独
わたしは怒り わたしは許し わたしは祈り
そしてわたしはあなた

曲中、少し成長した役者のやり取りが交わされる。

聖
哲治

よくカビのはえないこと・・・もう十時なのよ。
うん・・・

哲治は部屋の片すみに置いてある信玄袋のように
ひものついた大きな袋を見る。ジェルマンの荷物といえ
これ一つしかない。

聖
哲治

どうしたのよ、いったい・・・お兄さま。

うむ。
何時だと思つてらつしやるの。

聖
哲治

うむ。

もう一度、お味噌汁をあつためなくちやならないのよ。

聖
哲治

うむ・・・じゃないわよ。なにを考えてらつしやるのよ。

聖の視線は兄のそれを追つて床の間のサックにそそがれた。

聖

それ・・・ジェルさんでしょ。

哲治

そうだ。困るわねえ、いつまでもこのサック、家におきっぱなしなんて・・・

聖

本当にあの人、どこに消えちゃったのかしら。

哲治

青空のなか。

聖

なんですって。

哲治

いや、なんでもないなあ・・・聖、おれは彼の行先も行先だが、

聖

いったいなんのためにジェルさんが日本に来たのか、いま考えていたんだよ。
そうねえ・・・このサック、あけて見ればわかるかも知れないわよ。

聖は哲治が心の中で考えていたことをズバリと言った。
兄妹はしばらくの間、じつとこの古ぼけた信玄袋にも似た
手さげ袋に視線をそそいでいた。

聖 哲治

いや、やっぱり止めておこう。
そうね・・・

(唄1)

やさしさゆえに人になじられ 愛するゆえに身を引いた夜は
ひとり鏡をながめてごらん そこにわたしがいるから
わたしとあなた それぞれのエゴを超えてく
わたしたち 同じ愛から生まれたの
わたしは試練 わたしは学び わたしは光
わたしは命 わたしは愛 わたしは神
そしてわたしはあなた

(唄1&コーラス ジェルマン ポールさん以外)

わたしは涙 わたしは笑顔 わたしは孤独
わたしは怒り わたしは許し わたしは祈り
そしてわたしはあなた
ジェルマン ポールさんと登場

(唄1)

わたしは試練 わたしは学び わたしは光
わたしは命 わたしは愛 わたしは神
(唄1&コーラス)
そしてわたしは
あなた

最後は、ジェルマンとポールの後ろ姿を象徴的に見せて暗転

カーテンコール 光の子供たち

ポール手回しオルガンを演奏する。エンドロールが流れる。

